

■全国審判長会議 in刈谷・愛知 (2015.5.30-31)
■第2回JFA47都道府県レフェリーキャラバン

2015年6月
〈特別号〉

(公財)愛知県サッカー協会
審判委員会

■全国審判長会議 (5月30日～31日、刈谷生涯学習センター)

例年東京JFAハウスで開催してきた「全国審判長会議」が初めて東京以外、愛知県刈谷市で開催されました

47都道府県と9地域の審判委員長、更にJFAからは上川審判委員長はじめ10数名の錚錚たるメンバーが一堂に会する会議となりました。

「議題」は、JFA審判委員会の中長期プラン・業務プランの説明、ディスカッションテーマは①ユース年代審判員育成事業の実施について、②3, 4級審判員の資格更新率を高める方策について、また同時並行で開催された「JFAレフェリーキャラバン」へのオブザーバー参加、JFAへの意見・要望などです。

AIFAとしては、準備からいろいろな面で苦労はありましたが、愛知の組織力、人間力を全国に示すことができたと自負していますし、JFAや各FAからも運営力、組織力に賞賛の声が寄せられていたことを考えると嬉しい限りです。



■JFA47都道府県レフェリーキャラバン

全国審判長会議に並行して、刈谷生涯学習センター及びウイングアリーナ刈谷において「JFAレフェリーキャラバン」が開催されました。

これは、JFAが掲げる「レフェリーアカデミー構想」に基づく取り組みで、JFA審判委員会と47都道府県審判委員会双方が同じ方向性をもって継続的に審判員と審判インストラクターのレベルアップを目的とする研修活動です。

今回の愛知県レフェリーキャラバンでは、JFA石山S級インストラクターによる熱い指導の下、審判員への指導法である「チュータリング」の実践や、オフサイドの判定トレーニングである「インスタントフィードバック」や「プラクティカルトレーニング」などを体験しました。このトレーニングには愛知県から延べ16人のユース審判員と6人のインストラクターが参加しましたが、J1扇谷プロフェッショナルレフェリーにも参加頂き、ユース審判員達は大いに刺激を受けた模様です。AIFA審判委員会では、このキャラバンで得たものを、今後の愛知県における審判活動・指導に有効に活用していきたいと考えています。

AIFAユース審判員の前向きさとやる気、そしてインストラクター個々の資質の高さを示すことができ、天気にも恵まれたことを合わせ、大成功の内に終了することができましたことをここに報告いたします。

最後に山田強化部長始め、事前準備から当日の指導に苦労を重ねたAIFA審判委員会メンバーとユース審判員、そして今回こうした貴重な機会を提供いただいた上川委員長を始めとしたJFA審判委員会の皆様に心から感謝申し上げます。

(AIFA審判委員長 岡田)